

●吉野川

大台ヶ原から発し、深い淵や早瀬とさまを変えながら町を流れる清流。姿も味もよい桜鮎で有名です。解禁になると釣り人の姿があちこちに見られます。

●津風呂湖

◆大和上市駅→バス津風呂湖行約20分終点下車すぐ

1963(昭和38)年に津風呂川をせきとめて造られた周囲32km、広さ150haの灌漑用ダム。湖には遊覧船(4/1~11/末日)やボート遊び、釣りのほか、湖畔ではハイキング、サイクリング、温泉も楽しみ、湖面に映る景色もまた美しいです。

■吉野運動公園

総合体育館を中心に本格的な陸上競技場、野球場、テニスコート、ゲートボール場、ファミリープール、サイクリングロードなどの施設が充実。児童公園や憩いの場もあります(ご利用のお問合せ/☎07463-2-1119)。

●妹山樹叢(天然記念物)

◆大和上市駅→バス津風呂湖行・宮滝方面行約10分津風呂湖口下車徒歩約5分

妹山は吉野川の右岸に面し、旧伊勢街道と東熊野街道の分岐点にある、標高249mのこんもりとした山で、黒雲母・絹雲母千枚岩・石英片岩などの石からなり、全山照葉樹の原生林

におおわれています。この樹叢は1928(昭和3)年3月、国の天然記念物の指定を受けました。

0.5m以上の厚さに腐植土が堆積しており、ツルマンリョウ、ルリミノキ、テンダイウヤク、ナガバジュズネノキ、ホンゴウソウ、ホンダウシダなど珍しい暖地性植物が群落を形成。遠く屋久島方面の植物さえ混在しており、西日本の特殊暖帯林として珍重されています。現在、人工林の多い吉野地方に、こうした貴重な林相がいまに伝わったのは、859(貞観元)年以前に大名持神社が南のふもとにまつられてから、妹山が周辺地域の人々の崇敬をあつめた“忌み山”として入山を禁止されてきたため。今日でもこの伝統は大切に守られており、その自然を後世に伝えていく努力が続けられています。祭神は大物主神の荒魂、大名持神です。

また、妹山は対岸にある青山とともに、難高と久我之助の悲恋として名高い浄瑠璃や歌舞伎の“妹青山婦女廻調”で知られています。

●宮滝遺跡

◆大和上市駅→バス大滝行・温盛温泉行約15分宮滝下車徒歩約5分

このあたりの吉野川の両岸は巨岩奇石でおおわれ、水の流れはエメラルド色。付近から縄文時代以降の遺構・遺品が出土しています。天武・持統天皇がたびたび訪れた吉野の宮跡



津風呂湖

といわれ、近年、それを裏付ける建物跡の一部が出土しました。風光明媚なこの地は、『万葉集』や『懐風藻』にもその美しさが多く詠まれています。

●家の小川

善住谷の杉木立のなかを流れる溪流で、やまとの水31道のひとつ。吉野山の青根ヶ峰や水分神社の山あい水源をもつ流れがこの川となつて、吉野川に注ぎます。万葉集の歌人、大伴旅人もその清々しさを歌に詠んでいます。

●菜摘

◆大和上市駅→バス国庫経由大滝行・湯盛温泉行約15分菜摘下車
宮滝の上流にある、万葉人が歌に詠んだ里。吉野川の美しい清流はこのあたりで湾曲し、河原が広々しているので水遊びすることもできます。また、谷崎潤一郎の名作『吉野葛』にも登場します。

●国栖奏(翁舞)

◆大和上市駅→バス国庫経由大滝行・湯盛温泉行約35分南国庫下車、浄見原神社まで徒歩約5分
毎年旧正月14日に、天武天皇をまつる浄見原神社に奉納される典雅な舞楽。1760年前、応神天皇が吉野の宮に行幸されたとき、国栖人が一夜酒をつくり歌舞を奏して天皇を慰めた故事にはじまるといわれます。壬申の乱の大

海人皇子をかくまった際も国栖舞を奏し、翁の称を賜わったといえます。舞は12人の翁で様やかに奏されます。

●紙すきの里

◆大和上市駅→バス国庫経由大滝行・湯盛温泉行約30分窪垣内下車すぐ
宮滝から吉野川上流へ約5km、窪垣内や南大野を中心に、昔ながらの紙すきが行われています。吉野和紙は大海人皇子が養蚕とともに村に伝えられたのがはじまりといわれ、裾を清流にさらし、一枚一枚丹念にすいた和紙が庭先に干されるさまは冬の風物詩。付近では吉野杉の割箸生産もさかんです。(和紙づくり見学のお問合せ/奈良県和紙海工業協同組合事務局 ☎07463-6-6457)

●龍門岳

◆大和上市駅→バス笛吹行約20分山口下車徒歩約2時間
津風呂湖にその秀麗な姿を映す龍門岳(標高904m)は、龍門山地の最高峰です。奈良時代初期には仙郷と考えられていたところで、特に『今昔物語』にある久米仙人の話は有名。険しい山腹にあった大寺、龍門寺にこもって修行したといえます。また寺近くの龍門滝の下方には仙窟があったとか。宇多上皇や菅原道真も参詣しています。

⑩Tsuburoko

This man-made lake is 150ha wide, 32km round and 45m deep. It is an ideal place to enjoy fishing and boating.

⑪Yoshinogawa

The Yoshino River is the home of Ayu fish. Many people enjoy fishing in the open season.

⑫Miyataki

The ancient site of the Yoshino Rikyu Palace of Emperor Tenmu and Empress Jito. It is a scenic spot with emerald water and large, fantastically-shaped rocks.

⑬Kisa No Ogawa

The stream appearing in Manyoshu flows through the Kisadani Valley.

⑭Paper Making in Kubogaito

Ever since 1300 years ago, this area has been famous for its production of Washi, Japanese paper. This paper is patiently made piece by piece in pure water.

⑮Ryumondake

The mountain, 904m above sea level, known since ancient times as the place where immortal hermits live. Its beautiful image is reflected in the Tsuburoko.

⑯Imoyama Juso

The virgin forest of this hill is a treasury of precious plants.



吉野川



龍門滝



窪垣内



湯宮滝



紙すきの里



龍門岳



宮滝、柴橋上流



宮滝、柴橋下流

柴橋からの展望

昔の柴橋は文字どおり木や柴で作られ、ここから五百米ほど上流に架かっていました。今は鉄橋に架けかえられてその名をとめています。橋の中ほどから見る上流正面の山は「舟張山」といい、ふちとの里は「菜摘」です。すぐ右手に迫る山は「三舟山」といいます。川幅のもっともせまいところにはそば立つ岩の間に昔の柴橋がありました。

下流左手の山が「象の中山」。その山すそを流れる溪流が「象の小川」で、本流に注ぐ所を「夢の和田」といいます。

すぐ右手、松の生い茂る岩山を「中岩の松」といいますが、吉野山に南朝の皇居があったとき、まだ幼なかつた寛成親王(後の長慶天皇)が狩りにこられ、吉野川の水面に映える松の美しさを疊てられ、「この松を天皇(後村上天皇)に奉ろう。岩ごと皇居へ持ち帰れ」と供の者にむづかられたという逸話が、吉野拾遺に残されています。度たびの洪水にも耐えて、今なお往時の美しさを見せています。



宮滝遺跡



象（きさ）の小川

吉野山の青根ヶ峰(あおねがみね)から流れでて、宮滝の夢の回り淵へ注ぐ溪流で、深い緑と相まって万葉の息吹を今に伝えている。やまとの水31選のひとつ。



下洩頭首工(吉野川分水)[十津川・紀の川総合開発事業]

大和平野の農業水利の安定を図るため、国営土地改良事業として実施された。

頭首工は、昭和47年2月着工し昭和49年3月に完成する。規模は堤高4.58m、堤長58.6mである。



芝崎公園

大台ヶ原に源に流れる吉野川。その澄んだゆたかな水は、歳月をこえて尽きることなくとうとうと流れている。その清流と景観美により、昭和47年には柴山寺から上流25kmが「県立吉野川津風呂自然公園」に指定された。その沿岸にある芝崎公園は、奇岩景勝の場所が多く、史跡めぐりやキャンプ、鮎釣りなど憩いとレジャーのコースとして親しまれています。



芝崎の奇岩



清流と遊ぶカヌーは、自然を相手に自分を試し、また自然に身を寄せる憩いの場として人々に親しまれている。



栄山寺

養老3年(719)、藤原武智麻呂(むちまろ)により創建される。八角堂は国宝で武智麻呂の子仲麻呂が父母のために造営したといわれ天平の姿をそのまま今に伝えている。国宝の梵鐘の表面の銘文は撰者が菅原道真で小野道風の書と伝えられ梵鐘の傑作とされている。



源龍寺の流し雛

毎年4月第1日曜日に源龍寺に女の子が集まり法要が行われその後吉野川の清流に流す。